

第 19 回 日 本 老 年 学 会 第 37 回 日 本 老 年 医 学 会 参 加 報 告

医療法人社団成啓会 成和病院 長谷田 祐 作

は じ め に

平成 7 年 10 月、第 37 回日本老年医学会・総会、第 19 回日本老年学会・総会が大阪市で開催された。

昨年は第 36 回日本老年医学会・総会が東京都で開催されたことは既報の如くであるが本年は 2 年毎に同時開催される日本基礎老化学会、日本老年社会科学会、日本老年歯科医学会も例年通りに、それぞれの会場毎に開催され各会場間にはバス運行も実施され昨年比し何となく賑々しい気分であった。但し基礎老化学会の会場は地下鉄利用の方が便利であった。

老年医学会と老年学会は大阪市天王寺区上本町 8 丁目 2 番 6 号大阪国際交流センターで開催されたが、その会場の配置や日程などについては図 1 及び表 1～3 に挙げたので御覧頂きたい。

主要行事など

日本老年医学会は表 1～3 に見られるように会長講演と特別講演 I、II、シンポジウム I、II が、日本老年学会は会長講演とシンポジウム I が行われた。

前回の報告では会長講演の骨子など略記したと思うが今回は老年学会シンポジウムの内容を略報したいと思う。

今回のシンポジウムは「21 世紀の老年医療・

福祉と QOL」がテーマである。

司会は大阪大学名誉教授阿部裕氏と国立循環器病センター名誉総長尾前照雄氏で両氏の司会のことばに始まり基調講演として大阪大・人間科学部臨床老年行動学・柏木哲夫氏より臨床の実際的な面から老人のターミナルケアの特徴が身体的な面から及び精神面、そして最後に社会面からの特徴が述べられた。

次いで第 I 席として神戸大学医学部放射線基礎医学・第 19 回日本基礎老化学会大会会長・藤原美定氏は基礎医学の立場から、老化の細胞分子機構と制御と題し老化現象の発現機構や修飾要因などについて述べた。

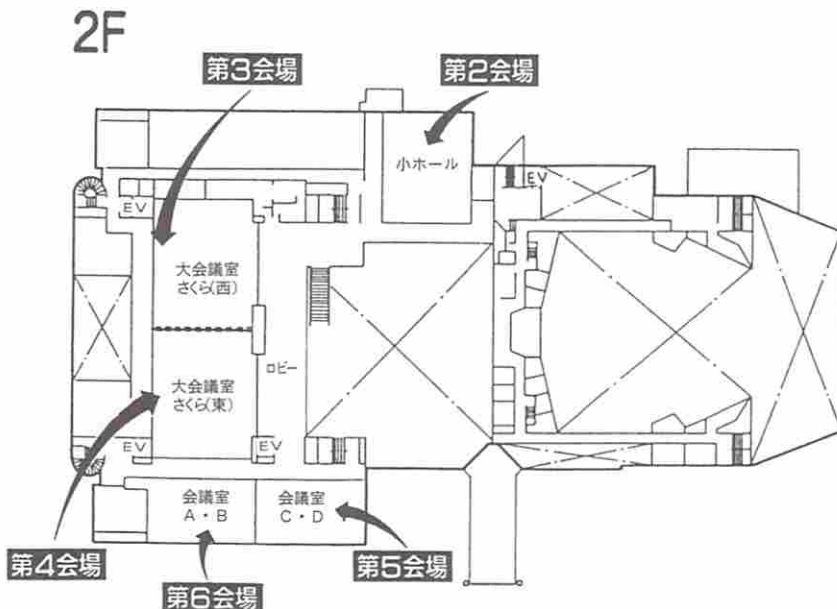
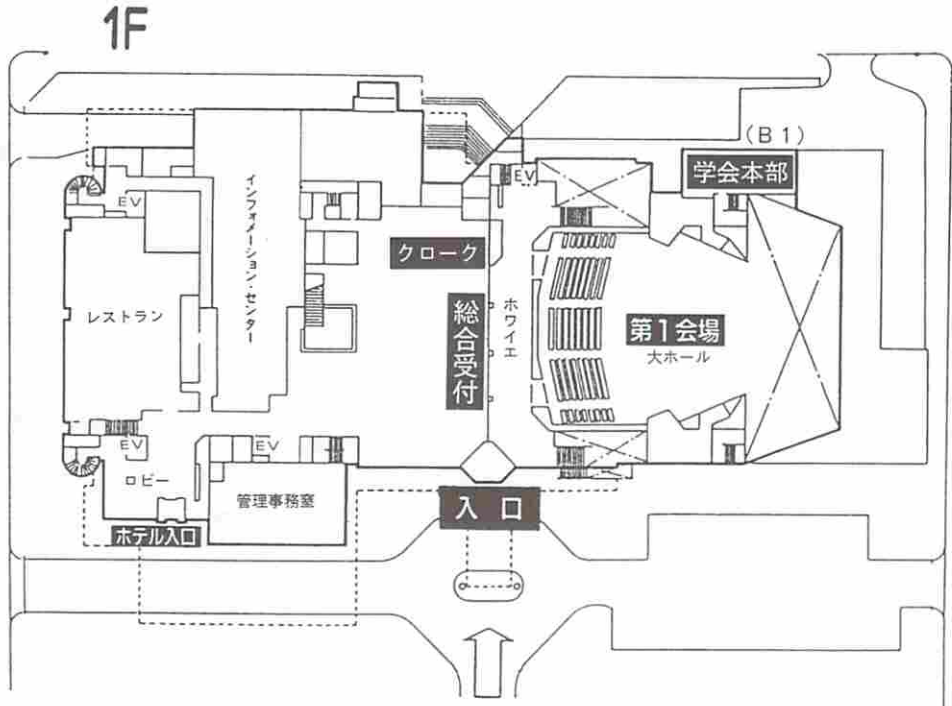
第 II 席としては臨床医学の立場から第 37 回日本老年医学会学術集会会長・甲子園大学栄養学の西村健氏が老年期精神障害の現況と臨床的問題と題し老年期精神障害の最大の課題は老年期痴呆への対応であること、従来我が国の老年期痴呆では脳血管障害によるものが高率とされ特徴とされて来たが近年の調査ではアルツハイマー型も少なくなく欧米型に向かいつつあると言えること、痴呆の治療についてもコリン作動薬以外の可能性を求めて努力する必要を強調すると共に薬物治療以外の対応も重要でリハビリテーションやケアの方法の研究開発が待たれることを述べた。

第 III 席は歯科医学の立場から大阪大学歯学部歯科麻酔学・第 6 回日本老年歯科医学会大

会会長・松浦英夫氏が高齢者歯科治療時の全身問題と題し、日本歯科麻酔学会が行なった全国調査では、全国の歯科医師の約40%が1年間に少なくとも1回、歯科診療中に何らか

の全身的合併症を経験していること、そしてこの合併症の10%のものは、高血圧性心疾患、虚血性心疾患、脳血管障害を中心とした、いわゆる成人病の急性増悪によるものであった

図1 大阪国際交流センター会場案内図



こと等を報じ、日常の診療から得られた歯科治療時の全身管理の問題点を話した。

第IV席は社会科学の立場から大阪府立大学福祉学部第37回日本老年社会学会大会副会長・大国美智子氏が人生の終末期におけるQOLと題し、人生の終末期では「医療モデル」の質的変容とともに「生活モデル」の質

が問われるようになってきていると断じ生活の場である福祉の現場でのQOLの向上とは何かを考えてみたいと言う。

多様な価値観がある中では本人が生き方を自由に選択できることが必要であり支援体制の整った幾つかの選択肢が準備されねばならず、また人生の終末期はその人の人生の集大

表1 日程表および座長一覧表 10月18日(第1日)

| | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 | 第4会場 | 第5会場 | 第6会場 |
|-------|--|---|--|--|---|--|
| | 大ホール | 小ホール | さくら西 | さくら東 | 会議室C D | 会議室A B |
| 9:00 | 開会の辞 | 脳血管障害 I (23~33) | 高血圧 I (45~55) | 循環器 (65~78) | 糖尿病 I (85~91) | 呼吸器 I (105~122) |
| 9:10 | 痴呆 I (1~17) 三木 哲郎 本間 昭 武田 雅俊 精神 (18~22) 小林 敏子 | 赫 彰郎 飯村 攻 脳血管障害 II (34~44) 井形 昭弘 峰松 一夫 | 藤井 潤 日和田邦男 動脈硬化 I (56~64) 上松瀬勝男 大内 尉義 | 桑島 巖 中村 芳郎 矢野 捷介 血液 I (79~84) 梅田 正法 | 姫井 孟 井藤 英喜 内分泌 (92~94) 稲田 満夫 代謝栄養 (95~98) 高崎 優 腎臓・尿路 (99~104) 土肥 和紘 | 山本 俊幸 佐々木英忠 木田 厚瑞 感染症 (123~128) 鳥羽 研二 |
| 12:20 | (12:20) | (12:10) | (11:54) | (11:54) | (11:54) | (12:12) |
| | 昼 食 | | 12:30 | 評 議 員 会 | | |
| 13:25 | 日本老年医学会総会 優秀論文賞授賞式 (13:50~14:00) | | | | | |
| 14:00 | 日本老年医学会 会長講演 (司会:金子仁郎) | | | | | |
| 14:30 | 日本老年医学会 特別講演 I 高齢化とがん診療 末舛恵一 (司会:五島雄一郎) | | | | | |
| 15:20 | 日本老年医学会 シンポジウム I 痴呆の基礎と臨床 〔司会:亀山 正邦〕 長谷川和夫 | | | | | |
| 17:20 | | | | | | |

成でもあり、時にはそれまでの生き方、生活の継続性が保証されねばならず、生き甲斐のある終末を選択するためには残存能力の活用、新たな能力の創造や予防福祉などにより、自立にむけて支援することが大切で保健・医療・福祉の円滑な連携があって初めてそれらの支援が可能なのではないだろうかと結んだ。

以上シンポジウムにおける講演内容を略報したが会員諸兄の参考ともなれば幸甚である。

そ の 他

北陸地区から出題されたものとしては、第1日第2会場脳血管障害IIの部で石川県立中

表2 日程表および座長一覧表 10月19日(第2日)

| | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 | 第4会場 | 第5会場 | 第6会場 |
|-------|--|---|---|--|---|---|
| 9:00 | 大ホール | 小ホール | さくら西 | さくら東 | 会議室CD | 会議室AB |
| | 痴 呆Ⅱ (129~140) 青葉 安里 小林 祥泰 | 脳血管障害Ⅲ (150~161) 松本 昌泰 柳原 武彦 | 虚血性心疾患 (177~194) 松尾 修三 沼野 藤夫 上田 慶二 松本 正幸 | 高血圧Ⅱ (199~211) 菊池健次郎 檜垣 實男 島本 和明 | 呼吸器Ⅱ (222~227) 福地義之助 | 健康管理 (242~253) 松林 公蔵 三上 洋 村上 元庸 |
| | 疫 学 (141~149) 大西 利夫 藤島 正敏 | 動脈硬化Ⅱ (162~176) 中井 継彦 島田 和幸 須永 俊明 | 検査・薬物 (195~198) 森本 茂人 | 糖尿病Ⅱ (212~221) 井口 昭久 妻鳥 昌平 | 血液Ⅱ (228~241) 白倉 卓夫 山田 英雄 森 眞由美 | 看護・介護 (254~258) 中島 健二 ターミナル・災害 (259~263) 三好 功峰 |
| 12:36 | (12:02) | (12:36) | (12:03) | (12:18) | (11:54) | (11:56) |
| | 昼 食 | | | | | |
| 13:00 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 日本老年学会 総 会 日本老年学会 会長講演 (司会:原澤道美) 日本老年学会 シンポジウム 21世紀の老年医 療福祉とQOL (司会:阿部 裕 尾前照雄) </div> | | | | | |
| 13:30 | | | | | | |
| 14:00 | | | | | | |
| 16:50 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> サテライトシンポジウム 老年期痴呆の診断と治療をめぐって 都ホテル大阪 4階 大和の間 </div> | | | | | |
| 17:30 | | | | | | |
| 19:30 | | | | | | |

央病院より1題、第2日第2会場動脈硬化Ⅱの部で福井医大・第3内科より1題、第4会場高血圧Ⅱの部で金沢医大・老年病科より2演題が、同会場糖尿病Ⅱの部で同科より更に1演題が、第5会場血液Ⅱでは金沢大・3内

より1演題がそれぞれ発表された。

第3日第2会場脂質代謝の部で金沢大・第2内科より1演題が発表の予定となっていたが私は都合により聴くことができなかったことを付記する。

表3 日程表および座長一覧表 10月20日(第3日)

| | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 | 第4会場 | 第5会場 |
|-------|--|---|--|--|---|
| 9:00 | 大ホール | 小ホール | さくら西 | さくら東 | 会議室CD |
| | ジョイント シンポジウム 高齢者の心疾患 (オーガナイザー: 尾前照雄 Nanette K.Wenger) | 神 経 (264~275) 山之内 博 平井 俊策 脂質代謝 (276~287) 垣下 榮三 秦 葭哉 北 徹 | 消化器・肝・胆・膵 (288~303) 馬場 忠雄 深沢 俊男 鎌田 武信 腫 瘍 (304~307) 高橋 忠雄 | 痴 呆Ⅲ (308~318) 南野 壽重 吉田 亮一 老 化 (319~330) 松田 保 澤田 徹 中村 重信 | 骨・運動器 (331~340) 大畑 雅洋 森井 浩世 リハビリテーション (341~355) 柴田 博 森松 光紀 上田 敏 |
| 12:20 | (12:00) | (12:26) | (11:54) | (12:18) | (12:20) |
| | 昼 食 | | | | |
| 13:00 | 日本老年医学会 特別講演Ⅱ 免疫病の分子 生物学と医学 岸本 忠三 (司会:木村郁郎) | | | | |
| 13:50 | 日本老年医学会 シンポジウムⅡ 老年病治療の 新たな展開 (司会:折茂 肇 荻原俊男) | | | | |
| 15:50 | 9:30 サンド老化および老年医学研究基金受賞講演会 都ホテル大阪 4階 大和の間 12:00 | | | | |
| 16:10 | | | | | |
| 18:10 | 閉会の辞 | | | | |

—お知らせ—

今回の教育講演への参加は、日本老年医学会認定医更新のための5単位(演者は更に2単位加算)となります。日本老年医学会認定医の方は、教育講演の参加単位登録受付を10月20日15:10より開始しますので、会場(認定医制度担当)受付がお渡しする「認定医更新のための単位登録票」(赤色)にて登録手続きをして下さい。

おわりに

大阪市は東京都以上に久しぶりであったが、
成果の多い学会であった。この機会を与えて

戴いた医療法人社団正啓会理事長小西秀男院
長に深甚なる謝意を表すものである。